

D5

35 F 521

日本國政府

實用新案公報

實用新案出願公告  
昭25-2022

公告 昭 25.3.30 出願 昭 23.1.1 實願 昭 23-20

出願人 考案者 村 上 勇 一 富山市住吉町8  
代理人 辨理士 宮 田 庄 太 郎 外1名

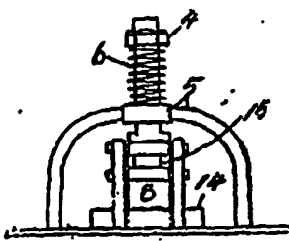
煎 餅 焼 器

圖 面 の 略 解

第1圖は本案機の側面図第2圖は一部正面図なり  
實用新案の性質、作用及效果の要領

本案は蓋枠1にコンロ2熱板3を装置し其の上に止  
ナット4と支承棒5にて挟持されたるバネ6を首  
部に巻環し下端に焼型押7を附設せる昇降杆8を  
設け該昇降杆に横杆9を取付け足踏杆10にワイ  
ヤー11を通じて連繋せしめたるものなり而して図中  
12は上下相嵌合せる焼型13は焼型差入口14は昇降  
杆案内用導板15は横杆調節導管16は煙突17は燃  
料供給口18は灰出口とす本案は前記の如く蓋枠1  
上にコンロ2及熱板3を設けバネ6を首部に巻環  
し下端に焼型押7を有する昇降杆8に横杆を附し  
ワイヤー11を通じて足踏により昇降杆8を上下す  
べからしめたる爲焼型押に當り従来の螺絲の  
もの、如く相當強き手力を必要とせず足力にて極  
めて軽く而も強壓し得るのみならず引上はバネ6  
により一舉に行はる、により焼型12の開閉は急速  
に行はれ製品の膨脹を非常に良好ならしむると共に  
身體の勞力を大いに軽減する爲め女子供にも容易  
に操作し得る等の效果ある新規の考案なり

第2圖



登録請求の範圍

圖面に示す如く蓋枠1にコンロ2熱板3を装置し  
其の上に止ナット4と支承棒5にて挟持されたる  
バネ6を首部に巻環し下端に焼型押7を附設せる  
昇降杆8を設け該昇降杆に横杆9を取付け足踏杆  
10にワイヤー11を通じて連繋せしめたる煎餅焼  
器の構造

第1圖

